

別紙

1. 変更事項

4. 地域再生計画の目標

【地域再生の目標】

(目標1) 林業振興及び森林機能の改善

5. 目標を達成するために行う事業

(5-1) 全体の概要の内容

(5-2) 法第4章の特別措置を適用して行う事業

道整備交付金を活用する事業

[整備量及び事業費]の内容

汚水処理施設整備交付金を活用する事業

[整備量及び事業費]の内容

(添付資料)4. 整備箇所図の内容

2. 変更事項の内容

新旧対照表

新	旧
<p>【地域再生の目標】</p> <p>久万高原町では、「ひと・里・森がふれあいともに輝く元気なまち」というテーマに基づいた取り組みを講じる。特に今回の地域再生事業では「森の再生」と「里の再生」に大別して事業を実施するもので、既存の地域資源の活用と新たな交流人口の増加に結びつけ、地球規模での環境の再生、地域経済の再生を目指すものである。</p> <p>(以下略)</p> <p>その一方で、高齢化や不在地主等によって放置された山林については、官民一体となった「森林再生支援事業」で間伐を実施し、それらを効率的に搬出するための高密度道路網の整備を行うことにより、搬出経費の削減を図る。さらに、流域の荒廃林野については、行政による積極的な介入によって、<u>小規模な個人所有</u></p>	<p>【地域再生の目標】</p> <p>久万高原町では、「ひと・里・森がふれあいともに輝く元気なまち」というテーマに基づいた取り組みを講じる。特に今回の地域再生事業では「森の再生」と「里の再生」に大別して事業を実施するもので、既存の地域資源の活用と新たな交流人口の増加に結びつけ、地球規模での環境の再生、地域経済の再生を目指すものである。</p> <p>(以下略)</p> <p>その一方で、高齢化や不在地主等によって放置された山林については、官民一体となった「森林再生支援事業」で間伐を実施し、それらを効率的に搬出するための高密度道路網の整備を行うことにより、搬出経費の削減を図る。さらに、流域の荒廃林野については、行政による積極的な介入によって、杉、桧等の針葉樹</p>

者を集めて団地化することにより、計画的かつ効率的な間伐を促進するための新たな林道整備を行うとともに、杉、桧等の針葉樹から、桜、クヌギ、ナラ等の広葉樹へと転換を図り、荒廃林のもたらすさまざまな問題の解決に向けた取り組みの第一歩として位置付ける。また、放置林や労働力不足等の問題を解決するため「(株)いぶき」の充実を図り森林整備に努める。

(以下略)

特に、主要道路沿線については、針葉樹から広葉樹への転換を図ることにより、自然そのものを有効な観光資源として再生させ、合併後、新町として新たに選定した観光スポット 21 選の一つである「県指定史跡 仰西渠」へのアクセス道である町道の改良等により、交流人口の拡大に結びつけるとともに、古くから栄えた門前町の商店街として、情緒あふれる一体的な整備を行い、地域経済の活性化・再生を目指す。

(目標1) 林業振興及び森林機能の改善  
(間伐実施面積の 13%増加、放置林 11%減少)

#### (5-1) 全体の概要

「森の再生」については、戦後 60 年間で失われた山の自然美、環境を取り戻すため、長期的な展望に立ち、施策を継続させていくものとし、基幹林道の「林道向山線」、「長崎明神山線」及び「東古味西谷線」、並びに林道「ゴンゲン線」、「シロヤマ線」、「竹谷山線」、「ナガサコ線」、「芋坂支線」及び「ヤマゴ口線」を開設することにより、連絡した路線となり広域的な森林施業を図り、「林道梅ヶ谷永子線」の改良・舗装、「林道長崎明神山線」の改良及び「林道トロメキ稲村線」の舗装を行うことにより、施業ポイントまでのアクセス効率化や高性能林業機械等を利用した森林整備も可能となり、森林施業の効率化や放置林の減少が図られる。また、「林道長崎元井谷線」の法面改良により、

から、桜、クヌギ、ナラ等の広葉樹へと転換を図り、荒廃林のもたらすさまざまな問題の解決に向けた取り組みの第一歩として位置付ける。また、放置林や労働力不足等の問題を解決するため「(株)いぶき」の充実を図り森林整備に努める。

(以下略)

特に、主要道路沿線については、針葉樹から広葉樹への転換を図ることにより、自然そのものを有効な観光資源として再生させ、交流人口の拡大に結びつけるとともに、古くから栄えた門前町の商店街として、情緒あふれる一体的な整備を行い、地域経済の活性化・再生を目指す。

(目標1) 林業振興及び森林機能の改善  
(間伐実施面積の 12%増加、放置林 10%減少)

#### (5-1) 全体の概要

「森の再生」については、戦後 60 年間で失われた山の自然美、環境を取り戻すため、長期的な展望に立ち、施策を継続させていくものとし、基幹林道の「林道向山線」、「長崎明神山線」及び「東古味西谷線」を開設することにより、連絡した路線となり広域的な森林施業を図り、「林道梅ヶ谷永子線」の改良・舗装、「林道長崎明神山線」の改良及び「林道トロメキ稲村線」の舗装を行うことにより、施業ポイントまでのアクセス効率化や高性能林業機械等を利用した森林整備も可能となり、森林施業の効率化や放置林の減少が図られる。また、「林道長崎元井谷線」の法面改良により、冬期の霜崩れや雨水等による崩壊などを防止でき、安定した森林施業が可能となる。さらに、「町道中津線」

冬期の霜崩れや雨水等による崩壊などを防止でき、安定した森林施業が可能となる。さらに、「町道中津線」及び「町道宮の前明神線」の拡幅工事を行うことにより、集落から国道へ結ぶ連絡区間で大型木材運搬車との離合や、観光拠点までの一般車両同士の離合ができ、スムーズで安全な通行が可能となる。なお、本計画の道路整備交付金の対象となっている町道中津線については、昭和58年3月9日に町道として認定している。また、林道については平成15年12月26日樹立の中予山岳地域森林計画及び平成18年12月28日変更の同計画に記載されている。(以下略)

の拡幅工事を行うことにより、集落から国道へ結ぶ連絡区間で大型木材運搬車との離合ができ、スムーズで安全な通行が可能となる。なお、本計画の道路整備交付金の対象となっている町道中津線については、昭和58年3月9日に町道として認定している。また、林道については平成15年12月26日樹立の中予山岳地域森林計画及び平成17年1月17日変更の同計画に記載されている。(以下略)

(5-2) 法第4章の特別措置を適用して行う事業  
道整備交付金を活用する事業  
整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

(略)

**[整備量及び事業費]**

- ・町道 0.6km、(基幹)林道 6.1km、林道 25.8km
- ・総事業費 2,609,600千円  
町道 220,000千円 (うち交付金 110,000千円)  
林道 2,389,600千円  
(うち交付金 1,192,112千円)

(5-2) 法第4章の特別措置を適用して行う事業  
道整備交付金を活用する事業

(略)

**[整備量及び事業費]**

- ・町道 0.5km、(基幹)林道 6.1km、林道 18.1km
- ・総事業費 1,967,200千円  
町道 200,000千円 (うち交付金 100,000千円)  
林道 1,767,200千円  
(うち交付金 880,800千円)

汚水処理施設整備交付金を活用する事業  
整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

(略)

**[整備量及び事業費]**

- ・浄化槽(市町村設置型) 110基
- 公共下水道 事業費 1,145,000千円  
(うち交付金 600,850千円)  
単独事業費 299,000千円

汚水処理施設整備交付金を活用する事業  
整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

(略)

**[整備量及び事業費]**

- ・浄化槽(市町村設置型) 5人槽 55基  
7人槽 55基
- 公共下水道 1,444,000千円  
(うち、単独 299,000千円)  
(うち、交付金 600,850千円)

<p>浄化槽（市町村設置型）事業費 <u>104,027</u> 千円</p> <p>（うち交付金 <u>34,674</u> 千円）</p> <p>    <u>単独事業費 16,500</u> 千円</p> <p>合計 <u>1,249,027</u> 千円</p> <p>（うち交付金 <u>635,524</u> 千円）</p> <p>    <u>単独事業費 315,500</u> 千円</p>	<p>浄化槽（市町村設置型） <u>134,800</u> 千円</p> <p>（うち、<u>単独 25,900</u> 千円）</p> <p>（うち、<u>交付金 36,300</u> 千円）</p> <p>合計 <u>1,578,800</u> 千円</p> <p>（うち、<u>単独 324,900</u> 千円）</p> <p>（うち、<u>交付金 637,150</u> 千円）</p>
<p>（添付資料）4 . 整備箇所図(別添)</p>	